

学校名	新座市立東野小学校
実施日	令和3年1月22日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、国語科を中心に、学校の教育活動全体をとおして、学校の研究テーマ「主体的に伝え合い学び合う児童の育成」に向かって取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ渦ということもあり、「伝え合う・学び合う」という学習環境が行いにくい状況であった。</li> <li>・2学期より、クログブックを活用する学年が増え、それにより、伝え合う手段の幅が広がっている。</li> <li>・2学期に6学年が研究授業を行った。3学期には講師を招聘して1、3、5年が研究授業を行う予定である。来年度の本発表に向け、準備を進めたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期に学校を訪れた際、大変落ち着いた環境の中で学習している子ども達の姿に接した。</li> <li>・コロナ渦において、この1年間の授業は大変だったことと思う。</li> <li>・子どもがいろいろな意見を言える環境になっている。</li> <li>・コロナ渦、創意工夫した教育が出来ていると感じる。</li> <li>・コロナ渦、先生方は努力されている。</li> <li>・コロナ渦で長期間学校が閉鎖され、遠隔による教育の必要性が重要視されてきた。しかし、学校側、家庭側でその環境が整うのは相当な時間がかかりそうだが、教育の最重要課題として行政も含めて早急にICT環境を構築してもらいたい。</li> </ul>
2	学校は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善による確かな学力の育成に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に教室の全面掲示などが提案され、教室環境は統一され、整っていると言える。</li> <li>・職員が毎年多数入れ替わるので、今後は、学校全体で研修を行っていく必要がある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる健全と言われる子どもにとっても、集中して学べる環境を整えることが大事である。黒板の周囲が次第にすっきりしてきたように感じた。</li> <li>・各教室を見てみると、児童の作品がより掲示されていて、コメントも記入されていて、自信にもつながると思う。</li> <li>・コロナ渦、創意工夫した教育が出来ていると感じる。</li> <li>・コロナ渦、先生方は努力されている。</li> <li>・コロナ渦で難しいと思いますが、出来ることを頑張ってもらいたい。</li> <li>・児童が落ち着いて過ごし、学習活動に集中できるようになるべく掲示物を少なくした方がすっきりして効果が上がるかもしれない。</li> </ul>
3	学校は、教育活動全体(学級活動・委員会活動)をとおして、児童に「創る自分」「つなげる自分」「失敗をおそれない」をスローガンに自主的行動ができるよう、心と行動、自分と他者をつなげた(協働)行動ができるよう、チャレンジできるよう指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロナだから出来ない」ではなく、委員会や縦割り活動など、様々な工夫を凝らして実行しようとする教員が増えてきた。特に高学年は、自主的に動くようとする意識が芽生えてきた。</li> <li>・しかし、教職員の中でも、取組に差が見られるのも事実である。自主的に行動できる児童を育てるためにも、教職員が一丸となってスローガンに対して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・また、自己肯定感が低い児童が多いので、今後は自己肯定感を高めるよう、取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動が縮小されたり、中止になったりすることが増えていると思われる。感染小に対する対応を考える中で、これからの時代に対応した取組が必要と思う。モデルとなる実践を作り上げていただきたい。</li> <li>・先生方の取組は、大変かと思う。児童の行動や家庭の変化があったのも確かです。</li> <li>・コロナ渦、創意工夫した教育が出来ていると感じる。</li> <li>・コロナ渦、先生方は努力されている。</li> <li>・コロナ渦で難しいと思いますが、出来ることを頑張ってもらいたい。</li> <li>・学校の主力と言えば、授業の内容と思う。何よりも現場が大事なので、他の先生方が生徒と一緒に授業を受けてみて、教え方の改善が見つかるかもしれない。詰め込みだけの教え方よりも、自分で考える力を持たせることも重要と思う。</li> </ul>

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、部会を定期的に行うよう、年間の行事予定を立てたので、各主任が計画的に部会を開き仕事を進めている。また、仕事の分担も部会ごとになされるようになってきた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変な業務の中で、先生方のご苦労がどれほどかと思うと心が痛む。校務に関するより一層の精選に取り組んでいただきたい。</li> <li>・このまま引き続き、お願いします。</li> <li>・定期的な打ち合わせが多くなれば、それだけ時間をとられることになるので、効率的にして、会議の時間を少なくする必要がある。</li> </ul>

5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案から反省までの流れが、昨年度よりスムーズに出来ていると言える。PDCAサイクルが確立しつつある。</li> <li>・しかし、会議の回数、長さなど、働き方改革も含め、まだまだ改善の余地があると言える。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の様子を見る限りにおいて、学校運営が大変良いと想像される。先生方の働き方改革には是非取り組んでください。</li> <li>・反省から次につなげられるよう、より連携を図ってください。</li> <li>・このまま引き続き、お願いします。</li> <li>・学校経営計画における目的や目標に基づいて、教職員が一体となって学校経営をすることが重要。</li> </ul>
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、マニュアルの見直しを図り、コロナ対応なども入れて作成し直すことが出来た。</li> <li>・避難訓練、安全点検は、定期的に行われている。</li> <li>・不審者訓練も昨年に比べ、改善された。</li> <li>・今後は、マニュアルの徹底、活用が課題である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策が優先されるべきで、その上で、地域と共に子どもを守るという発想を今後も続けていただきたい。</li> <li>・避難訓練のご協力をいただき、児童の日頃の訓練が行き届いていることがよくわかり、素晴らしい。</li> <li>・日頃の訓練により、子ども達は自主的に動くことが出来ている。</li> <li>・このまま引き続き、お願いします。</li> <li>・学校の安全点検や安全管理は校長や教頭の責任としている学校が多いと聞かすが、一般の職員も責任者の一人という意識を持つことが大切。絶えず、起こるかもしれない不審者への対応や他の事案の反応力も必要。</li> </ul>

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律に関しては生徒指導部を中心に全校で統一しており、それを元に学習を深められる環境が整えられている。</li> <li>・今後は、現在の児童に合っている物なのか、検討、改善していく必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範は大事であるが、今後は内容の充実とともに、室の向上を図る必要があると思う。形式も大事にしつつ、実感を伴う取組を。</li> <li>・黒板の使い方や先生方独自のブリンとにより、勉強がわかりやすい。自分の考えを自分からまとめ、気づくことが出来る。</li> <li>・コロナ渦の初めての指導、実践、その努力に敬意を表します。</li> <li>・長い目で見て、子ども達の資質や能力を高める為に何が必要かを考えたい。</li> <li>・今年度に関しては、学習の定着は難しいのではないかと思う。</li> </ul>
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領となり、教師も、思考力、判断力、表現力を高める指導を心がけている。</li> <li>・コロナ渦のため言語活動に取り組みにくいのが、教員も工夫を凝らして授業行っている。</li> <li>・今後、ICTをどれだけ活用していけるかが課題である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の学力調査を踏まえて日々努力されているように思う。ICTの活用は、無理のない範囲で取り組めるところから導入されると良いと思う。</li> <li>・先生が、子どもの発言をサポートして下さる。</li> <li>・コロナ渦の初めての指導、実践、その努力に敬意を表します。</li> <li>・これからの社会をになっていく子ども達に必要な能力は何かを探し出し、先生方も一緒に考えていただいて、学校教育で育成してほしい。</li> </ul>
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に基づき、熱心に教材研究に励み、わかる授業、楽しい授業を目指して学習指導を行っている。</li> <li>・専科の教員を各学年に振り分け、副担任制度をとっている。算数では、少人数指導を行い、個に応じた指導ができるよう努めている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて学校の雰囲気は学力の向上につながっていることと思います。一人一人の潜在的な能力の引き出してほしい。</li> <li>・とてもわかりやすく、工夫して丁寧な授業をして下さっている。</li> <li>・コロナ渦の初めての指導、実践、その努力に敬意を表します。</li> <li>・児童の能力はまちまちなので、クラスの仲間の良いところを褒めたり、困っている友達に声をかけたり互いに協力する心得お育成するような指導が学力アップにもつながると思う。</li> </ul>

10	<p>学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。</p>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話講師との継続的な指導により、児童は英会話表現に慣れ、抵抗なく発音するようになっている。</li> <li>・高学年は「書く」活動も入ってきており、計画的に行う必要がある。</li> <li>・低学年の英会話の時間が減ってしまったことが残念である。</li> </ul>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語学習で大事にされる本質的な意味での楽しい学習が学校全体のカリキュラムに、より影響を与えていると思う。</li> <li>・外国人講師の明るく元気な指導により、英語を楽しくし元気に学んでいる。高学年については、リモートで国際交流できると良い。</li> <li>・ローマ字とアルファベットの区別について混乱している子が多くいる。一度話題にしてみても良い。</li> <li>・コロナ渦の初めての指導、実践、その努力に敬意を表します。</li> <li>・日本語は世界一難しい言葉なのに、外国人は1、2年で日常会話程度の日本語を覚えてしまう。教科書に沿った学習方法に異を言うつもりはないが、会話を取り入れた学習方法を多く取り入れたらと思う。</li> </ul>
----	--	---	--

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も、代表委員が、挨拶をより活発にしようとして、アイデア豊富な対策に取り組んでいる。</li> <li>・各学年でも、発達段階に応じた挨拶や言葉づかいの指導を行っている。</li> <li>・児童、教師共に個人差があるため、今後も粘り強く指導を行っていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの明るい姿勢から、成果が読み取れる。</li> <li>・言葉づかいを注意することがある。</li> <li>・子ども、先生、保護者、みんなで協力し合えると良い。</li> <li>・登下校中の挨拶等を見ても、学校の取組が実践されている。</li> <li>・パトロール中、元気に挨拶された。先生方の指導に感謝する。</li> </ul>
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合っ学校生活を送れるような環境を整備している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度の生活アンケートを始め、児童の日々の様子からいじめの実態の把握と迅速で組織的な対応に努めている。</li> <li>・教師は、児童の良いところを認め、その良さを伸ばすよう指導に当たっている。</li> <li>・近年、自分の気持ちをコントロールできない児童や複雑な家庭環境の児童も増えており、今後どう対応していくかが課題である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面をとらえて、よい行動や言動を価値づける取組が更に広がっていきと良い。</li> <li>・個々の児童の持つ素晴らしい免があり、良いところを褒めると気持ちが素直に伝わってきます。気になる児童にも心から接している子どもがいて、優しさが見られ、素晴らしい成長だと思う。</li> <li>・先生方のご指導により、子ども達は日々学び合う学校生活を送れていると思う。</li> <li>・教師、保護者が互いに敬意をもって連携しながら話し合いをするべきだと思う。</li> </ul>
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規律に関しては、教師が手本となるよう、日々努力を続けている。</li> <li>・毎月、生徒指導委員会を実施し、月目標の振り返りや児童の規範意識についての振り返りを行っている。</li> <li>・今後は、教師も児童も時間を守ることを課題として取り組んでいきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつてとは比べられないほど、先生の態度や行動姿勢が良くなっていると思う。</li> <li>・先生方のトイレ掃除も手本となっている。子ども達の意識も変わったと感じる。</li> <li>・たまには外に出て、自転車走行のマナーを実際に見せてあげて、マナー違反している自転車を見つけたら教えてあげるのも勉強になると思う。</li> </ul>

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、コロナ対応で体育朝会や授業の形態が変わってしまったが、年間計画を見直し変更することで計画的に授業を行う事が出来た。</li> <li>・体力アップカードも全学年で継続して取り組んでいる。</li> <li>・限られた環境の中でいかに効果的に児童の大量を向上させていくかが今後の課題である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上は、学力と共に、あるいは学力以上に大事なことだと思う。地道な努力の積み重ねが必要であると思う。</li> <li>・コロナ渦ではあるが、工夫して出来ることを頑張っている。</li> <li>・大きな体育的行事はなくなってしまったが、学級単位の取組で体力の向上を図ってもらいたい。</li> <li>・体力や運動能力の格差が広がっているように見える。教師が指導して能力を高めることは別に、子ども自ら進んで体を動かす取組を考えたらどうか。</li> </ul>
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、外部の方を招いての食育指導を実施することが出来なかった。</li> <li>・給食時における担任による食育指導を充実させると共に、来年度は食育主任を置き、各学年の食育を確立させていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の中での担任の先生方のご苦労が実を結んでいるかと思う。</li> <li>・リモートを活用してみても。</li> <li>・食べ物のアレルギー等（宗教的な物も含め）もあると思うので、安全についても共通理解してもらいたい。</li> <li>・家庭においても、なるべくそろって食事をする楽しさが出来るとベスト。</li> </ul>

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、保護者や地域の方と接する機会が減ってしまい、残念な思いである。しかし、学校に寄せられた要望や意見などは、真摯に受け止め吟味し、学校運営に反映させている。</li> <li>・来年度は、工夫をしつつ、保護者や地域の方と接する機会を増やしていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難な中でこそ、優れた工夫が生まれると思う。授業参観など、分散したり時間をずらしたりして接する機会を確保するなどの工夫が必要。</li> <li>・いろいろな意見をすぐに反映してくれていると思う。</li> <li>・学校は、保護者や地域の声を聞こうと努めている。</li> <li>・保護者その他住民との協調を前提に引き続き頑張ってください。</li> <li>・地域の人たちとの交流の場として、常に利用しやすいような形で学校施設を開放し、子ども達と接触する機会を増やせれば良い。</li> </ul>

17	<p>学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りやホームページは定期的に更新し、情報提供に努めている。</li> <li>・保護者アンケートに、ホームページが見にくいのご指摘があり、今後、改善に努めていく。</li> </ul>	A <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご苦労が多いとは思いますが、定期的な発信をお願いします。</li> <li>・授業参観がないので、HPを使って随時アップしてほしい。</li> <li>・学校便りやHPで学校の様子を知ることが出来ている。</li> <li>・学校の様子や学習の成果など、絶え間なく発信し続けていくことが大切と思う。</li> </ul>
18	<p>学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団コーディネーターの方々が、学校の要望していることに対し、細かく熱心に調整、対応をしてくださっている。今年は、消毒ボランティアが新設され、教師の負担を減らし、安心安全な学校作りに貢献していただいた。感謝に堪えない。</li> <li>・その他のボランティアの方々も工夫して活動をしていただき、感謝している。</li> <li>・今後も連携を深め、よりよい学校経営を目指していく。</li> </ul>	A <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者やそれ以外の地域の方々とも協働し、開かれた学校作りを今後とも継続されることを期待します。</li> <li>・学校応援団コーディネーターの方々の活動、対応に感謝いたします。地域の人間として、今後とも、学校の指導をいただきお役に立てればと思います。</li> <li>・コロナ渦ではあるが、各ボランティア団体が工夫しながら出来ることを頑張っている。今後も、活動を絶やさずつなげていきたい。</li> <li>・先生方の自己評価から見ても、保護者の方々等との連携協力が出来ていると思う。</li> <li>・学校応援団という取組は、教職員の負担も減り学校が元気になり、地域のボランティアさんも元気になる相乗効果になっていいことづくめ。参加者が増えることを期待している。</li> </ul>